

日本結核病学会北陸支部学会

—— 第94回総会演説抄録 ——

2019年5月25・26日 於 ハイブ長岡（新潟県長岡市）

（第83回日本呼吸器学会
第68回日本呼吸器内視鏡学会 と合同開催
第53回日本サルコイドーシス学会）

集会長 佐藤和弘（長岡赤十字病院がん化学療法科）

—— 一般演題 ——

1. 結核性胆嚢炎を合併した粟粒結核の1例 °西堀武明（長岡赤十字病感染症）青木志門・筒井裕一・倉科健司・古塩 純・島岡雄一・石田 晃・佐藤和弘（同呼吸器内）小林隆昌・河久順志・吉川成一・竹内 学（同消化器内）萩根沢真也（新潟大医歯学総合病神経内）

症例は81歳の女性。38℃台の発熱，左頸部腫瘍で発症。胸部CTでびまん性に散布する粒状影あり。喀痰，胃液，尿，リンパ節生検部位から結核菌を同定，粟粒結核と診断した。抗結核薬での治療開始21日目，39℃台の発熱，腹痛，意識状態の低下があり，腹部超音波検査で胆嚢結石，胆嚢腫大を認めた。経皮的胆嚢穿刺を施行し，腹痛は著明に改善，発熱も改善傾向を示した。胆汁から結核菌を検出し，結核性胆嚢炎と診断した。

2. *Mycobacterium shinjukuense* 感染症の1例 °北俊之・新屋智之・内田由佳・酒井珠美（NHO金沢医療センター呼吸器内）笠原寿郎（金沢大附属病呼吸器内）

症例は79歳女性。主訴は胸部異常陰影の精査。自覚症状なし。胸部X線では，両側中下肺野に多発性斑状陰影を認めた。CTでは，中葉舌区に気管支拡張を伴う浸潤影，結節状陰影を認め，非結核性抗酸菌症が疑われた。喀痰検査では抗酸菌塗抹陰性，抗酸菌培養陽性となり，質量分析では *Mycobacterium shinjukuense* と診断した。自覚症状が乏しいことから，経過観察の方針となった。質量分析法で菌種同定が可能であった *M. shinjukuense* 感染症の1例を経験した。